



小学校

学校用確認シート

自校の児童の体力や運動に関する意識、体力の向上への取組状況を確認し、次年度の取組に生かすために

1 今年度の調査結果について、自校の状況を確認してみましょう。

同送の結果資料CDを活用すると、自校の調査結果を確認することができます。基本集計のほか、クロス集計システム（生活習慣などの質問紙項目との関連）、個人帳票出力システム（児童一人一人の体力や運動能力の状況など）を見ることができます。

●基本集計

1週間の総運動時間の例

●クロス集計

調べたい相関をプルダウンメニューから選択すると、自動でグラフを表示

得られた結果は学校だより等でも活用されています。

●昭和60年度と平成29年度の比較で、特に差の大きい種目

種目	性別	昭和60年度	平成29年度
ソフトボール投げ	男子	29.94m	22.52m
	女子	17.60m	13.93m
握力	男子	18.35kg	16.51kg
	女子	16.93kg	16.12kg
50m走	男子	9.05秒	9.37秒
	女子	9.34秒	9.60秒



子供の体力は、横ばいか少しずつ向上の傾向にあります。しかし、ピーク時であった昭和60年頃と比較すると、依然として低い状況が続いています。

確認 ▶ 自校の実技の結果はどうでしたか？

結果資料CDを活用し、自校の状況を表に記入してみましょう。

種目	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	体力合計点 (点)
男子	自校の平均								
女子	自校の平均								

確認 ▶ 自校の児童質問紙調査の結果はどうでしたか？

体力・運動能力と、児童質問紙調査の「運動やスポーツをすることが好きか」「体育の授業が楽しいか」の肯定的な回答には、関わりがあることが明らかになっています。 [総合評価Aの児童の特徴は報告書p.126参照](#)

【質問1】 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。

【質問19】 体育の授業は楽しいですか。

	好き	やや好き	ややきらい	きらい
男子				
体力上位校	79.3%	16.2%	3.1%	1.4%
自校				
女子				
体力上位校	63.5%	27.5%	6.6%	2.4%
自校				

	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
男子				
体力上位校	78.3%	17.8%	2.8%	1.1%
自校				
女子				
体力上位校	66.8%	27.1%	4.8%	1.2%
自校				

※体力上位校：体力合計点の高かった上位10%の学校

体力上位校が行っている取組は裏面で



2 自校における体力の向上への取組を確認してみましょう。

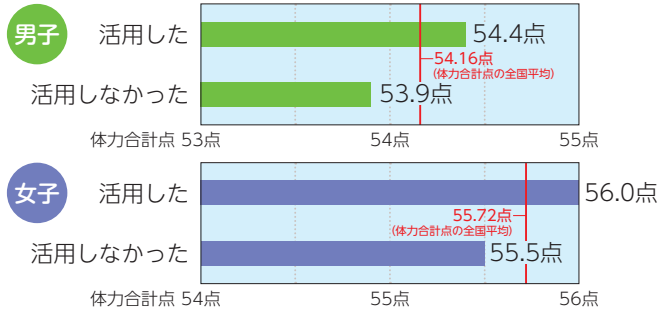
体力の高い児童の多い学校は、体力の向上に向けた様々な取組を行っていることがわかりました(学校質問紙の結果より)。

報告書の裏返しにある「取組チェックシート」で、体力上位校(体力合計点の高かった上位10%の学校)が実施している取組が確認できます。

確認 ▶ 自校の活用状況はどうですか？

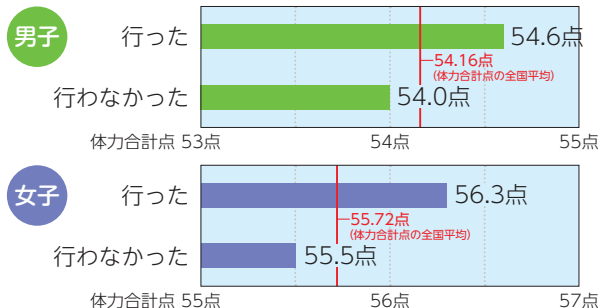
【質問27】全国体力・運動能力、運動習慣等調査「結果資料CD」を活用しましたか。

●結果資料CDの活用状況と体力合計点の関係



【質問30】全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書に掲載した事例校の実践を参考にした取組を行いましたか。

●事例校を参考にした取組と体力合計点の関係



質問	取組内容	チェック
質問4	調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。	✓
質問6	授業の冒頭で、その授業の目標(目当て・ねらい等)を児童に示す活動を取り入れていますか。	✓
質問21	児童の体力・運動能力の向上に関する取組、体育の授業における指導方法の工夫・改善について、全教職員で進めていますか。	✓
質問27	全国体力・運動能力、運動習慣等調査「結果資料CD」を活用しましたか。	✓
質問30	全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書に掲載した事例校の実践を参考にした取組を行いましたか。	✓

体力向上は、学校全体で「カリキュラムマネジメント」を実施することが重要です。

報告書や結果資料CDを活用すると、これらの取組以外にも自校と全国の取組状況を確認できます。

●調査の結果、こんなこともわかりました。

児童が認識していることも大切！

体力の向上には、体育授業の「目標の提示」と「ふり返り」の習慣化が大切！

児童の体力の向上という視点から捉えると、「授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動」を行っていることが大きく影響していることが読み取れます。この傾向は、「授業の始めにその授業の目標」が示されているかにもみられます。 [報告書p.123参照](#)

「ふり返る活動」を通して、自分の成長を実感したり新たな課題を見つけたりできるように、教師は授業の中で目標を明確に示し、ねらいに合った学習活動を取り入れることが大切です。また、その過程において友達同士やチームで「話し合う活動」や「助け合ったりする活動」を取り入れながら体育授業を充実させることは、児童の大きな成長へとつながります。

【児童への質問21】「ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。」と体力合計点との関連

